



FOR IMMEDIATE RELEASE

Nuvoiz が UCX リリース 1 を初公開

キャリアグレードのデュアルモード・ハンドセット用の Wi-Fi VoIP ミドルウェア

米国カリフォルニア州マウンテン・ビュー、2007年7月9日発：業界標準に準拠したモバイル・ユニファイド・コミュニケーター・アプリケーションの開発企業である Nuvoiz, Inc.は本日、デュアルモード・ハンドセット用 UCX リリース 1 を初めて公開しました。Wi-Fi ネットワークでの VoIP が広範囲に、密度高く利用されるようになるにつれ、キャリアやハンドセット・メーカーは Wi-Fi での音声イクスピアリエンスは従来の回線交換網での音声イクスピアリエンスと同じくらいに堅牢であることを補償しなければならないと認識するようになってきました。UCX はこれらの関係者が Wi-Fi での VoIP が直面する問題を解決するという挑戦を援助します。UCX は異なる Wi-Fi ネットワークでの VoIP イクスピアリエンスを堅牢にするためのドライバーレイヤのアルゴリズムを提供します。UCX は既存のいかなるチップセットとも互換性があります。

Wi-Fi ネットワークでの VoIP アプリケーションにはいくつかの固有な問題があります。特に、レイヤ 2 (L2) とレイヤ 3 (L3) のハンドオーバ、無計画な電波配置、既存のアクセポイントの問題などです。L2 のハンドオーバは大きな遅れを発生させ、通話の遅延となります。L3 のハンドオーバは IP 接続を切断し、通話がドロップしてしまうこととなります。無計画な電波配置はデッドスポットを生み、不正アクセポイントからの電波干渉、アクセポイントの過密の問題が発生します。既存のアクセポイントはハンドオーバをするインテリジェンスを持っていないので、クライアント側にハンドオーバをマネージするだけのソリューションが必要です。



UCXはL2とL3のハンドオーバーの新しい技術をハンドセットに実装し、これらの問題を解決しています。UCXのアルゴリズムは複数のアクセスポイントと複数のセッションを同時にはり、アクセスポイントとの最適なセッション管理します(アクティブAPとバックアップAP)。UCXのアルゴリズムはハンドセットにのみ存在し、サーバが必要になることはなく、アクセスポイントにも依存しません。その結果、UCXを使用すると、モバイル機器があるアクセスポイントから他のアクセスポイントに移動しても、VoIPアプリケーションはシームレスに稼働し、遅延も最小限になることを経験します。

ハンドセット・メーカーがUCXを採用するにあたっては、UCXをデュアルモード・ハンドセットに統合するためのプロフェッショナル・サービスをNuvoizは提供します。詳細は下記のコンタクトまでお問い合わせください。

Nuvoiz について

2006年に設立されたNuvoizは、本社をカリフォルニア州マウンテン・ビューに、子会社を東京に置く、Wi-FiでのモバイルVoIPソフトウェア開発を行う独立系企業です。

Nuvoizは、Wi-FiでのモバイルVoIP技術を市場に飛躍的に浸透させ、普及することを目標として、ソフトウェア技術および製品の開発に取り組んでいます。Nuvoizのソリューションは、モバイル・ワークを念頭におき、業界標準に準拠して設計されており、業界をリードする顧客に対し、高度な開発支援を提供しています。会社情報については、<http://www.nuvoiz.com> および <http://www.nuvoiz.com/jp/> をご覧ください。

###



コンタクト:

Chong-Jin Koh

jin@nuvoiz.com

408-454-6138 (US)

野畑裕保

nohata@nuvoiz.com

+81-3-5404-8284 (日本)